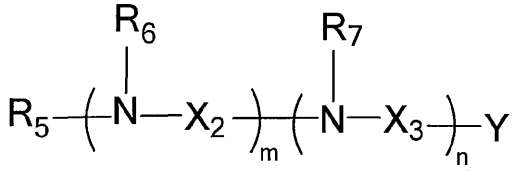
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年6月28日(2024.6.28)

【国際公開番号】WO2023/058770
【出願番号】特願2023-552978(P2023-552978)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　6/80(2020.01)
Ａ６１Ｋ　6/15(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　6/80
Ａ６１Ｋ　6/15

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月8日(2024.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
酸性基含有重合性単量体（Ａ）、酸性基を有しない重合性単量体（Ｂ）、有機過酸化物（Ｃ）、窒素原子を含む配位子（Ｄ）、及びフィラー（Ｅ）を含有する第一剤と、
酸性基を有しない重合性単量体（Ｂ）、チオ尿素化合物（Ｆ）、及びフィラー（Ｅ）を含有する第二剤と、を備える、ペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。
【請求項２】
前記窒素原子を含む配位子（Ｄ）が、分子中に窒素原子を２個以上有する配位子を含む、請求項１に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。
【請求項３】
前記窒素原子を含む配位子（Ｄ）が、一般式（１）で表される化合物、一般式（２）で表される化合物、及び含窒素複素環を含む多座配位子（３）からなる群から選ばれる少なくとも１つの化合物であり、前記多座配位子（３）が、窒素原子を含む５員環又は６員環を含む複素環を含み、分子中に窒素原子を２個以上有し、２座以上の配位子化合物である、請求項１又は２に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。
$R_1R_2N-X_1-NR_3R_4$　（１）
（R_1～R_4はそれぞれ独立して、置換基を有していてもよいアルキル基を表し、X_1は置換基を有していてもよい二価の脂肪族基を表す。）
【化１】



（２）

（R_5、R_6、及びR_7はそれぞれ独立して、置換基を有していてもよいアルキル基を表し、X_2、及びX_3はそれぞれ独立して、置換基を有していてもよく、酸素原子、及び／又は窒素原子を含んでいてもよい二価の脂肪族基を表し、ｍ及びｎはそれぞれ独立して、１以上の整数を表し、Ｙは置換基を有していてもよいモノアルキルアミノ基又はジアルキルアミノ基を表し、R_5、R_6、R_7及びＹのうち任意の２つ以上が一緒になって環を形成し

ていてもよい。R_6、R_7、X_2及びX_3が複数存在する場合、それぞれ同一であってもよく、異なっていてもよい。）

【請求項４】

前記窒素原子を含む配位子（Ｄ）が、一般式（１）で表される化合物、及び一般式（２）で表される化合物からなる群から選ばれる少なくとも１つの化合物である、請求項３に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。

【請求項５】

前記窒素原子を含む配位子（Ｄ）が、Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－テトラエチルエチレンジアミン、Ｎ，Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’’，Ｎ’’－ペンタメチルジエチレントリアミン、Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－テトラメチルプロピレンジアミン、Ｎ，Ｎ－ビス（２－ジメチルアミノエチル）－Ｎ，Ｎ’－ジメチルエチレンジアミン、１，４，８，１１－テトラメチル－１，４，８，１１－テトラアザシクロテトラデカン、トリス［２－（ジメチルアミノ）エチル］アミン、及び２，６－ビス（１－ピラゾール）－ピリジンからなる群から選ばれる少なくとも１つの化合物である、請求項１又は２に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。

【請求項６】

前記窒素原子を含む配位子（Ｄ）が、Ｎ，Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’’，Ｎ’’－ペンタメチルジエチレントリアミン、Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－テトラメチルプロピレンジアミン、Ｎ，Ｎ－ビス（２－ジメチルアミノエチル）－Ｎ，Ｎ’－ジメチルエチレンジアミン、及びトリス［２－（ジメチルアミノ）エチル］アミンからなる群から選ばれる少なくとも１つの化合物である、請求項１又は２に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。

【請求項７】

前記第一剤における酸性基含有重合性単量体（Ａ）と窒素原子を含む配位子（Ｄ）の配合比（質量比）が４０：１～２：１である、請求項１又は２に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。

【請求項８】

自己接着性組成物である、請求項１又は２に記載のペースト状の二剤型歯科用硬化性組成物。